

# 宮城県 公文書館だより

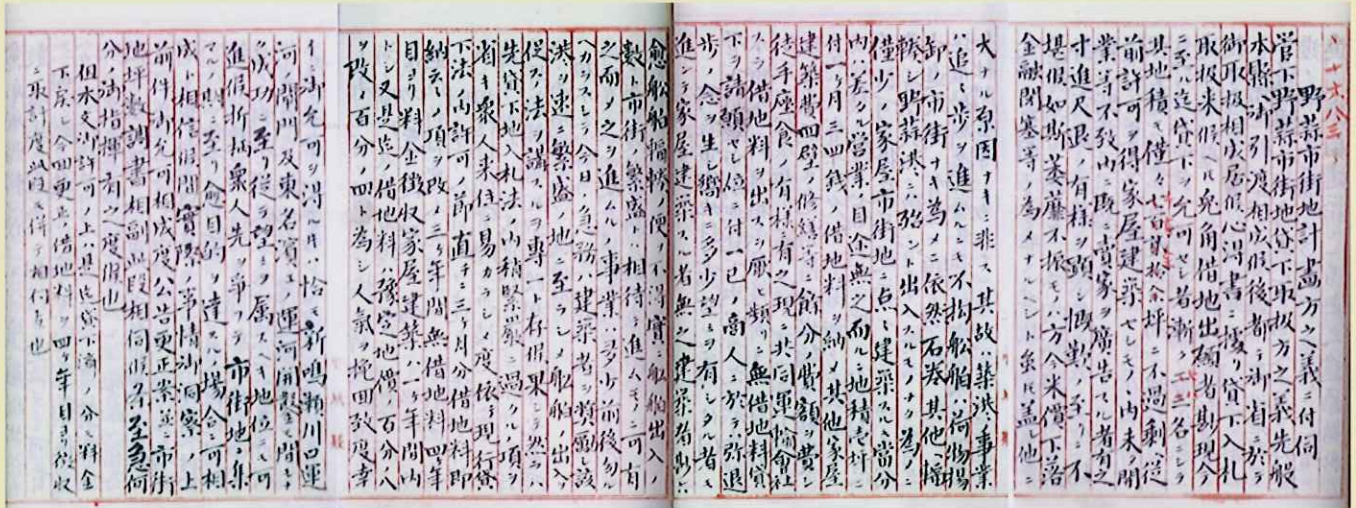
第4号

平成15年10月



収蔵資料の紹介「野蒜築港中止の兆し」.....1頁  
 企画展から「明治のキリスト教学校」.....2頁  
 第29回 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会及び研修会の開催.....3頁  
 宮城県の一口知識「百年前の宮城県の人口」..... //

公文書管理保存研修会の開催 外.....4頁



## 収蔵資料紹介

### 「野蒜築港中止の兆し」

#### 『野蒜市街地計画方之義二付伺』

M十七一〇〇九六

明治維新後、殖産興業を推進する政府は、明治十一年東北開発の拠点として野蒜貿易港築港事業に着手し、明治十五年十二月北上運河、繫船場と内港入口の突堤及び市街地造成が終了した。野蒜港に接する市街地は総面積十萬五千坪、うち道路、官用地、民地を除く貸付宅地は五萬三千坪である。十六年四月から市街地貸付の入札が開始された。

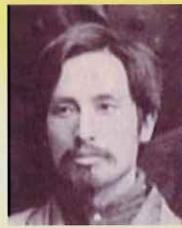
前評判から借受希望者も多いかと思われたが、そうではなかった。十六年十二月、県は政府に対し「野蒜市街地計画方之義二付伺」を提案した。その概要は「借地出願者少なくようやく七十八名に千有余坪にすぎない。許可を得て家屋建築したもの売り家としていれるものもある。船舶は、荷揚げ卸の市街がないため石巻など他に行き、野蒜港にはほとんど出入りするものがない。市街地に僅かに家屋建築されるも営業の目的が立たない。共同運輸会社から無料貸下の請願があるほどである。建物建築を進め、港を繁盛させ船舶の出入りを促すことが急務である。そのためには現行の「借地料三ヶ月分即納」を改め「借地料三カ年間無料とし四年目から徴収、家屋建築は一年以内、借地料は地価の百分の八を百分の四」として、人気挽回を図りたい。東名濱への運河もまもなく完成することから、市街地に先を争って集まると思われる。」というものであった。

政府の回答は、「借地料は減額できないが、そのほかは県の提案通りとする」とのことであった。しかし、政府は明治十七年一月以降、県に対し貸付入札実施の承認を下すことはなかった。それはあたかも、明治十七年九月に暴風雨で内港入口突堤が崩壊、野蒜港の再起不能事態を予期していたかのようであった。

## 明治のキリスト教学校

設 立 年	学 校 名
1886 (明治 19) 年	東華学校 (1892 (明治 25) 年閉校) 仙台神学校 (現東北学院) 宮城女学校 (現宮城学院)
1892 (明治 25) 年	尚綱女学校 (現尚綱学院)
1893 (明治 26) 年	仙台女学校 (現仙台白百合学園)

### 各学校の設立者たち



**押川 方義**  
仙台神学校・東北学院  
宮城女学校



**新島 襄**  
東華学校



**A・フゼル**  
尚綱女学校



**オズーフ司教**  
仙台女学校

## 欧化主義

M5 学制発布

M12 教育令

M19 学校令

M23 教育勅語

## 国家主義

M32 私立学校令  
高等女学校令

明治半ば、宮城県内の中等教育を担ったのは、主にキリスト教学校でした。これらの学校は、折からの国家主義を基調とする教育思想に影響されることもありましたが、独自の教育を確立し、この時代の教育を多彩なものとなりました。今回の企画展では、五校のキリスト教学校に焦点を当て、設立の経緯と学校運営の変遷、教育内容などを探るとともに、学校設立の背景にあった当時の社会状況を通じて、キリスト教学校の果たした役割を見ていきたいと思います。

## 宮城学院と合同企画展を開催

## 「明治のキリスト教学校」

### 宮城学院との合同企画展

今回の企画展の展示にあたっては、宮城学院女子大学の学生三〇名が展示作業の中心になりました。他機関との共同開催は、公文書館にとっても、普段なかなか公文書に触れる機会のない学生との交流を深めるとともに、公文書資料が学生の新たな視点で見直されるいい機会となりました。今後も、公文書館では他機関との連携を積極的に深め、資料の利活用に取り組んで参ります。

展示検討会風景↓



### 開催期間

平成十五年十一月一日(土)  
～十二月二十一日(日)

◆ 毎週月曜日閉館

**入場無料**

開催場所 宮城県公文書館

三階 展示室

URL

<http://www.pref.miyagi.jp/koubun/>

## 第二十九回 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

### 全国大会及び研修会の開催

平成十五年十一月十九日(水)～二十一日(金)にかけて、仙台国際センターにおいて、第二十九回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会の全国大会及び研修会が開催されます。

本大会では、歴史資料における研修会のほか、大会テーマ「二十一世紀の史料保存と利用」―歴史資料をいかに残すか―に向けて発表を行い、公

文書資料の重要性、その選定と保存を全体会・分科会を通じて協議します。特に今回は、現在進められている市町村合併の動きの中で公文書をどのように残していくか討議します。

お問い合わせは全史料協宮城大会事務局(宮城県公文書館内)

電話 〇二二―七九一―九三三三

まで

## 第29回 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会及び研修会

日	時	平成15年11月19日(水)～21日(金)
場	所	仙台国際センター
大会テーマ	21世紀の史料保存と利用 ―歴史資料をいかに残すか―	
研修会(11月19日(水))		
文書館入門		
市町村の文書管理		
記録史料のコンサベーションの現在		
公文書館職員の仕事		
海外における文書館学の動向		
文書館の普及活動を考える		
大会テーマ研究会(11月20日(木))		
全体会	歴史資料をいかに残すか ―市町村合併の動きのなかで―	
	宮城県公文書館収蔵資料管理システムの概要について	
	仙台市における自治体史編さんと史料保存	
	福井県文書館の設置経緯と今後の課題について	
分科会	第1分科会	公文書を残すために ―手段と方策―
	第2分科会	文書館等における非現用文書の保存及びその公開・提供をめぐる問題点
	第3分科会	文書館における専門職職員の養成をめぐる現状と課題
視察：宮城県公文書館(11月21日(金))		

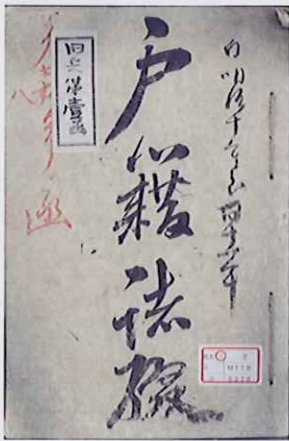
## 宮城県の一口知識

### 百年前の宮城県の人口

先日、宮城県の人口(推計)が、平成十五年九月一日現在で、二三七万―三五九人になっていいるということが発表されましたが、それでは、今から百年ほど前の人口は、何人位だったのでしょうか。

宮城県の県域が現在と同じになったのは、明治九年(一八七六)で、今から一二七年前になります。人口については、当時の記録で、五九万〇一七六人となっており、現在の約四分の一程度であったようです。

当時は、現在のような住民登録制度があつたわけではないため、正確に把握することはできなかったようすが、それでも戸籍簿が整いつつある時代でしたので、それに記載されている



【M二〇〇〇七〇 戸籍法綴】

人数を積み上げることによって、ある程度は把握することができたようです。

なお、今からちょうど百年前の明治三六年では、八九万九二七九人となっており、わずか二七年间で三〇万人以上も人口が増えたこととなります。これは、県内の産業が活発になって流入人口が増加したり、明治三二年から人口動態調査が行われるようになって、統計数値の正確性が増したことなどが要因と考えられます。

ちなみに、県内の人口が百万人を超えたのは、大正十二年(一九二二)、二百万人を超えたのは、昭和五二年(一九七七)でした。

ラコル、政ニ管内人民ノ空ニク因テ、是ノ時ニハ	選定	長
モ、皇國ノ統御ニシテ、地方ニテハ、大ニノ権限ヲ	選定	長
明ニシテ、地方ノ権限ヲ大ニシテ、地方ノ権限ヲ	選定	長
其ノ手、順手、順手、順手、順手、順手、順手、	選定	長
可ニ注意スル事	選定	長
明治十一年九月	選定	長

【明治一〇年、戸籍の重要性を説き、その具体的取扱い手続きを示した際の原案文】

## 公文書管理保存研修会の開催

公文書その他の記録・文書の保存や管理に関して、県内各市町村の現状や課題等についての意見や情報の交換を行う会場として、平成十五年十二月五日（金）に市町村の文書管理担当職員を対象に研修会を開催いたします。

今年度は、長野県松本市公文書館長（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 資料保存委員会委員長）である小松芳郎氏を講師に招き、「市町村合併時における公文書の保存と整理」と題し、講演いただく予定です。また、昨年度研修会に引き続き、県内市町村で実際に公文書の整理に携わっている方に、町における文書管理等について情報提供していただく予定です。

### 平成15年度公文書管理保存研修会

日時 平成15年12月5日(金)  
午後1時30分～午後4時  
場所 宮城県公文書館 大研修室  
内容 講演  
「市町村合併時における公文書の保存と整理」  
長野県松本市公文書館長 小松芳郎 氏  
情報提供  
松島町・加美町  
  
お問い合わせは、宮城県公文書館  
022-791-9333 まで

## 企画展 公文書にみる「明治の小学校」を開催しました

平成十五年七月五日から九月二十八日まで企画展「公文書にみる「明治の小学校」」を開催いたしました。

この展示会では、教育制度の黎明期であった明治初期にスポットをあてた教育制度の基本である初等教育がどのように確立していったのかその変遷を探るとともに、当時の教育内容、様子などを展示いたしました。

また、期間中、日本教育史研究会 員渡辺慎也氏を講師にお迎えし、「明治の熱血教師たち」と題して記念講演



記念講演の様子

会を開催いたしました。講演会では、会場定員を超えるご参加をいただきました。

また、企画展開催期間中の来場者は約五〇〇名を数えました。

## 利用案内

### 開館時間

午前九時から午後五時まで

### 休館日

月曜日  
国民の祝日・休日

（土曜日・日曜日に当たる日を除く）

年末年始

臨時休館（特別整理期間等）

### 交通のご案内

○電車の場合

JR仙石線榴ヶ岡駅下車

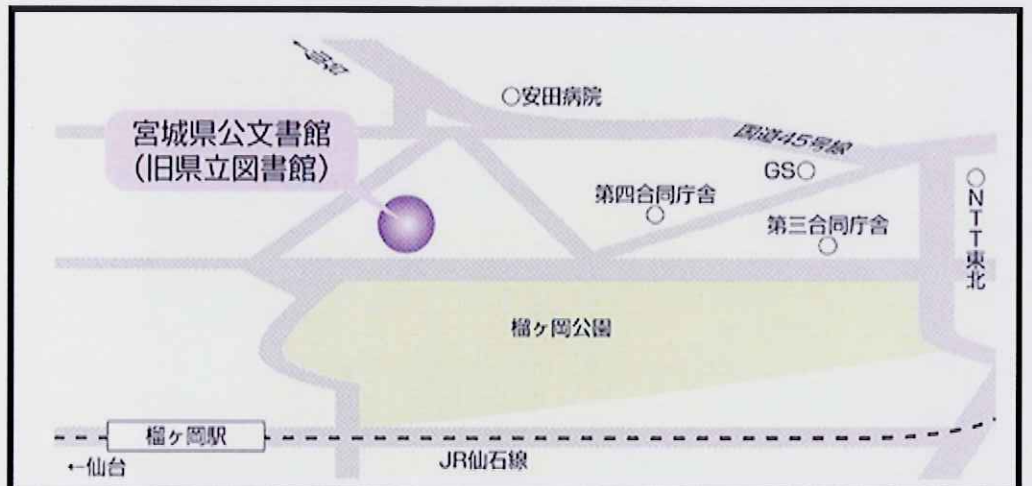
（徒歩7分）

○バスの場合

仙台市営バス、宮城交通

「第四合同庁舎前」下車

（徒歩3分）



## 公文書館だより

— 第四号 —

平成十五年十月十五日 発行

編集発行

宮城県公文書館

〒九八三-〇八五一

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡五

TEL 〇二二-七九一-九三三三